記者発表資料

平成２１年７月１７日
東北地方整備局

入札監視委員会の審議概要について
（総会・第一部会第１回定例会議）

東北地方整備局入札監視委員会の平成２１年度総会・第一部会第１回定例会議は、６月２４日（水）に仙台市の東北地方整備局で開催されましたので、その審議概要（別紙）についてお知らせします。

○東北地方整備局入札監視委員会は、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」に基づき設置されている第三者機関です。
主な議事は次のとおりです。
①当整備局が発注した工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等、物品の製造等の入札及び契約事務手続の運用状況について報告を受ける。
②委員会が抽出した一般競争契約、指名競争契約等の契約方式別にその内容の審議を行い、意見の具申又は勧告を行う。
③入札・契約手続及び指名停止等に係る再苦情処理を行う。

○委員会には、２つの部会が設置されており、第一部会は港湾空港関係以外の分野を、第二部会は港湾空港関係の分野を取り扱います。

〈発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会〉

問い合わせ先

国土交通省　東北地方整備局
（第一部会）　仙台市宮城野区二日町９番１５号　TEL (022)225-2171（代表）
主任監査官　畠山盛雄（内線２１１４）
入札契約監査官　丸山栄（内線２２２０）
契約管理官　熊谷伊佐男（内線２２２２）
技術開発調整官　村上和夫（内線３１２０）
（第二部会）　仙台市宮城野区花京院１丁目１番２０号　TEL (022)716-0013（ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ）
契約管理官　加藤治儀（内線６２２１）
経理調達課課長補佐　本間和彦（内線６５５４）

東北地方整備局　入札監視委員会　総会　審議概要

開催日及び場所	平成２１年６月２４日（水）　東北地方整備局　大会議室
委　　員	別紙名簿のとおり　　○欠席：三輪　佳久（弁護士）
審　議　概　要	○　総会においては、別紙名簿のとおり、委員長及び委員長代理の選任と各委員の部会所属を決定した。 ○その他（報告事項） （１）平成２０年度の契約状況について （２）「平成２１年度における入札・契約に関する事務の執行」について （３）「平成２１年度中小企業者に関する国等の契約の方針」について （４）車両管理業務談合事案について （５）平成２１年度事業概要について （６）「東北ブロックの社会資本の重点整備方針（素案）」の概要について

別紙

平成２１年度　東北地方整備局 入札監視委員会　委員名簿

氏　名	職　　業	役職・所属部会
貝山　道博（かいやま　みちひろ）	山形大学 人文学部 教授	第二部会
京谷　孝史（きょうや　たかし）	東北大学 大学院 工学研究科 土木工学専攻 教授	第一部会
熊谷　真宏（くまがい　まさひろ）	公認会計士・税理士	第一部会
佐藤　英世（さとう　えいせい）	東北学院大学 法科大学院 教授	委員長 第一部会
真野　明（まの　あきら）	東北大学　大学院 工学研究科 教授	第二部会
宮原　育子（みやはら　いくこ）	宮城大学 事業構想学部 事業計画学科 教授	第一部会
三輪　佳久（みわ　よしひさ）	弁護士	委員長代理 第二部会

（五十音順：敬称略）

東北地方整備局　入札監視委員会（第一部会）　審議概要

開催日及び場所		平成２１年６月２４日（水）　東北地方整備局　大会議室	
委員		部会長　佐藤　英世（東北学院大学法科大学院教授） 部会長代理　宮原　育子（宮城大学事業構想学部事業計画学科教授） 委員　京谷　孝史（東北大学大学院工学研究科土木工学専攻教授） 委員　熊谷　真宏（公認会計士・税理士）	
審議対象期間		平成２１年１月１日　～　平成２１年３月３１日	
総審議案件		総件数　１１件	（備考） ○部会開催にあたり 第一部会長に　佐藤　英世　委員 同　代理に　宮原　育子　委員　を選任した。 ○入札結果及び工事・建設コンサルタント業務等の発注件数、指名停止件数・談合情報等の報告並びに低入札価格調査対象工事の件数等の報告を行った。
工事	審議案件	６件	
	一般競争（ＷＴＯ対象）	１件	
	一般競争（ＷＴＯ対象外）	２件	
	工事希望型競争	０件	
	通常指名競争（一般土木）	１件	
	通常指名競争（その他）	１件	
	随意契約	１件	
建設コンサルタント業務等		３件	
役務の提供等及び物品の製造等		２件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等		別紙のとおり	
委員会による意見の具申又勧告の内容		特になし	

審議案件　工事　概要書

	工　事　名	入札・契約方式	工　事　場　所	上段：契約金額 （単位：千円） 下段：入札経緯	応　募 業者数	参　加 （指名） 業者数
1	盛岡第２地方合同庁舎（仮称）整備等事業	一般競争 （ＷＴＯ対象）	岩手県盛岡市盛岡駅西口地区土地区画整理事業区内	4,246,587 １回落札	３ｸﾞﾙｰﾌﾟ	２ｸﾞﾙｰﾌﾟ
2	東北中央自動車道　杉ノ平トン ネル工事	一般競争 （ＷＴＯ対象外）	福島県福島市飯坂町中野地内	575,400 １回落札	１８社	１８社
3	月山ダム水位維持放流バルブ修繕工事	一般競争 （ＷＴＯ対象外）	山形県鶴岡市上名川地内	115,500 １回落札	１社	１社
4	迫川浅布地区流路工工事	指名競争	宮城県栗原市花山字本沢浅布地内	375,900 １回落札	－	１０社
5	久慈管内歩道工事	指名競争	岩手県九戸郡野田村大字野田地内	14,385 １回落札	－	１１社
6	森吉山ダム本体建設第１工事（第３期）	随意契約	秋田県北秋田市森吉及び根森田地内	1,639,050 －	－	１社

審議案件　建設コンサルタント等　概要書

	業　務　名	入札・契約方式	履　行　場　所	上段：契約金額 （単位：千円） 下段：入札経緯	応　募 業者数	参　加 （指名） 業者数
7	金ヶ瀬拡幅（蔵王地区）用地調査等業務	簡易公募型 競争入札方式	宮城県刈田郡蔵王町宮字二坂地内外	27,489 １回落札	２８社	１３社
8	松川・須川流域砂防施設健全度調査設計	指名競争	福島河川国道事務所地内	34,500 １回落札	－	１０社
9	道路管理データ審査・更新業務	随意契約	酒田河川国道事務所管内	8,295 －	－	１社

審議案件　役務の提供等・物品の製造等　概要書

	業　務　名	入札・契約方式	履　行　場　所	上段：契約金額 （単位：千円） 下段：入札経緯	応　募 業者数	参　加 （指名） 業者数
10	画像回覧装置購入据付	一般競争	青森県青森市中央三丁目20-38外	13,125 １回落札	３社	３社
11	三次元空間データベース使用許諾権購入	随意契約	東北地方整備局	328,995 －	－	１社

別紙

	質　問　等	回　　答
	[指名停止関係] 特になし	
	[談合情報等の対応状況] ・事情聴取を行ったが、談合事実が認められなかったということですが、業者が「談合しています」と認めるものですか。これに関して、発注者としてどう考えているのですか。 ・談合情報があって、再度入札が行われる場合、前に入札を取りやめることになった談合情報や関連している業者、価格の問題などを突き合わせるような調査は行われているのですか。 ・今回は特定の県の案件が多かったし、メディアからの連絡も多いようですが、特別な事情とか背景は調べられているのですか。 また、公共事業に対する世の中の見方なり、関心の寄せ方についても、考えるべきではないでしょうか。	・捜査権を持っていないので、シンプルな聞き方をします。調査した内容は、業者の了解をとった上で、公正取引委員会や本省にも報告しています。 ・談合情報があった時は、我々のできる範囲で対応してきており、今後もきちんと対応していく考えです。 ・特定の地区ということではなく、あくまでも個々の案件ごとに調査し対応しています。
	[再度入札における一位不動状況] 特になし	
	[低入札価格調査制度調査対象工事] 特になし	
1	[抽出事案についての審議] 一般競争方式（ＷＴＯ対象） [盛岡第２地方合同庁舎（仮称）整備等事業] ・通常は整備局で発注しない維持管理・運営業務を一体で発注する理由は何ですか。 ・コストパフォーマンスの点から、ＰＦＩ方式は妥当でしたか。また、事後検証は、行っているのですか。	・維持管理・運営業務を施設整備と一体で発注することで、維持管理・運営を行いやすい設計を行うなどによりコスト縮減を図ることが可能となるためです。 ・ＰＦＩ方式の導入可能性の検討として、定量的評価と定性的評価を行っています。そのうち定量的評価としてＶＦＭ（Value for Money）というものを算定しており、これにより、従来方式より安くできることを確認しています。 また、落札金額から、当方で想定していた以上にコスト縮減が図られたものと考えています。

	質　問　等	回　　答
	・ＰＦＩ方式を採用する際の基準はあるのですか。	・採用するかどうかについては、事前に導入可能性の検討を行います。個々の事業の内容にもよりますので、基準といったものはありません。
	・協定を結んでから、次に契約を締結するようですが、内容が重なってくるのではないでしょうか。	・まず、落札したグループと発注者で協定を交わし、その後、落札したグループによりＳＰＣを設立し、ＳＰＣと発注者で契約を締結します。落札者の決定から契約を締結するまで時間がかかるため協定を交わすこととしています。
	・維持管理運営の期間が１０年以上になっていますが、この１０年という期間はどこから出てくるのでしょうか。	・庁舎の場合、約１５年後に大規模修繕が発生するといったリスクがあるため、１０年程度に設定しています。
	・民間に全て委託したとすれば、１０年間チェックが及ばないのですか。いわゆるコントロールの部分はどうなっているのでしょうか。	・ＰＦＩの場合、従来方式のように監督を行うわけではないですが、業績監視ということを行います。これは、事業者自らで確認した資料を提出させ、発注者はその資料で業績を確認するものです。必要に応じ実地の確認もします。
2	一般競争方式（ＷＴＯ対象以外） ［東北中央自動車道杉ノ平トンネル工事］	
	・ＮＡＴＭ工法によってトンネルを掘るということですが、ＮＡＴＭ工法の中で、地山安定化対策、覆工コンクリートの品質管理等の技術提案を行うという設定ですか。	・その通りです。
3	一般競争方式（ＷＴＯ対象以外） ［月山ダム水位維持放流バルブ修繕工事］	
	・設置当時の受注業者と、今回の受注業者は同じですか。	・設置当時の業者は倒産しており、異なる業者です。
	・不具合が起きたときの調査は、誰が行うのですか。	・職員が定期的に行うほか、専門業者に、月点検、年点検を委託し、逐次点検結果の報告を受けています。
	・入札参加業者が１者だけですが、特殊な技術が必要な工事ですか。	・業者にヒアリングを行っていないので、理由は分かりません。バルブ設置箇所がダム堤体内にあり、作業箇所が狭く特殊な場所ではあります。

	質　問　等	回　　答
4	指名競争方式 ［迫川浅布地区流路工工事］ 特になし	
5	指名競争方式 ［久慈管内歩道工事］ ・入札金額に幅がありますが、当局で予定している金額は、果たして妥当なのですか。 ・不調となった一般競争から、指名競争に移行した結果、９８．９％という落札率は正常な状態ですか。 ・辞退が非常に多いのですが、その原因は何か、調査はしましたか。	 ・公表している積算基準で積算しており、妥当と考えています。 ・現場作業部分の積算方法や鋼材価格高騰等の理由から、入札金額が高くなったものと思われます。 ・鋼橋の小規模工事であることと、架設位置が工場から相当遠い位置にあることが考えられます。
6	随意契約方式 ［森吉山ダム本体建設第１工事（第３期）］ ・この随意契約は、大蔵大臣の許可のもと「することができる規定」なのか「しなければならない規定」なのか、どちらでしょうか。 ・落札率９９．９％は、どういう理解をすればよいのでしょうか。	 ・平成８年に建設大臣から大蔵大臣に協議し、いただいた回答に示された要件に該当すれば、随意契約をすることになります。 ・本工事は随意契約なので、見積合わせで行っております。見積合わせをした結果です。
7	簡易公募型競争入札方式 ［金ヶ瀬拡幅（蔵王地区）用地調査等業務］ 特になし	
8	指名競争方式 ［松川・須川流域砂防施設健全度調査設計］ ・通常指名競争入札対象業者評価表において、「手持ち業務量の状況による」との記載がありますが、どういう意味ですか。	 ・今回は同点者が存在したため、①業務成績②業務実績③手持ち業務量の順に比較し順位付けした、ということです。

	質　問　等	回　　答
9	随意契約方式 ［道路管理データ審査・更新業務］ ・民間では履行できない業務ですか。 ・前回、随意契約見直しについて、平成２１年度の対応を本省において検討中との回答がありましたが、その後の進捗状況はどうですか。	 ・システムが巨大で、サブシステムもあります。すでに運用を始めて１０年以上経っていますので、現時点では、民間企業がやることは困難と思います。 ・結論はまだ出されていませんが、平成２１年度から競争性の無い随意契約については、契約締結前に入札監視委員会での審議を受けることになっており、該当案件があれば、審議をお願いすることになります。
10	一般競争入札方式 ［画像回覧装置購入据付］ 特になし	
11	随意契約方式 ［三次元空間データベース使用許諾権購入］ ・平成１７～平成１８年度に行った測量の著作権を買い取って、活用していくということですか。	 ・従来は、国土交通省内での活用という制約がありましたが、地理空間情報活用推進基本法に基づき、誰でも使えるように変更しました。

総 評	本日の審議結果について、意見の具申又は勧告事項はありませんが、以下の 3 点につき要望があります。 ・経済・雇用対策として、前倒し発注は必要だが、急ぐあまり、入札・契約手続において、公正さ・適正さが損なわれないよう留意すること。 ・中小業者の受注確保の目標はあるものの、中小業者が落札できない、或いは、入札辞退といったケースが多いようだ。予定価格の妥当性をよく検討すること。 ・車両管理業務に係る談合に関連して、東北地方整備局としても談合再発防止のための対策を充実すること。	・ご指摘を踏まえ、今年度のこれからの契約を適正に進めて参ります。